



(4)

信仰とは、人が行動する時に、善悪の基準として、あるいは根拠として考えを寄せる指針となるものであって、実体を持って動き、導いてくれるものではない。指導者に従うのも、結局はそれを通した先にあるものを自らの心に映し、自己判断に基づいて行動した結果であるはずである。信仰が他力本願たりのほんがんであるというのは間違いなのだ。つまり自らの意思を捨て丸投げにしてしまうことは、信仰とは言えないのである。

1회

2회

3회

4회

5회

58 筆者は信仰をどのようなものだと考えているか。

- 1 指導者に従い行動すれば、正しく導いてくれるもの
- 2 宗教を信じ、善悪の基準とする人の心を映すもの
- 3 自己判断に基づいて行動した結果、得られるもの
- 4 自ら考え、行動する際の判断の助けとなるもの

